

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月27日

事業所名 発達支援センターあおぞら園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	国の設置基準の広さは確保しているが、利用児童数が多い日は、大型ユニットハウスを指導訓練室として利用している。	引き続き、国が定める設置基準の広さは確保し、土曜日・長期休暇に利用人数が増える場合には、別棟の大型ユニットハウスを利用するなどして、快適に生活ができるスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	国の設置基準である人員配置より、多くの人員を配置している。	引き続き、国の設置基準である人員配置を遵守する。可能な限り設置基準を上回る人員を配置する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	バリアフリー化がなされていないが、取り付け型の備品を使用し、対応している。	施設が賃貸であるため、設備整備が困難である。2021年度に施設の新築及び移転を計画している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	日次ミーティング、週次ミーティング及び月次のミーティングにおいて、振り返りを行っている。	月次のミーティング(全員参加)において、PDCAサイクルで振り返り、業務改善を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	保護者アンケートを実施し、その結果を踏まえ業務改善に努めている。	保護者アンケート及び放課後等デイサービス事業ガイドラインに沿った保護者自己評価により、業務改善につなげる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	事業所のホームページで公開している。	毎年、事業者自己評価、保護者自己評価を実施し、評価結果をホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1		専門機関による福祉サービス第三者評価を受け、業務改善につなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	●施設内研修を行う際には、全職員が参加できるよう日程を調整している。	●全職員の研修機会が確保できるよう計画を立てる。 ●施設外での研修会になるべく多くの職員が参加できるよう、職員個別の研修計画を立てる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	保護者との面談を行い、子どもの状況に合わせた計画を作成している。	引き続き、利用開始前の見学や体験利用時に保護者との面談を行いニーズの把握や子どもの状況を記録し、個別支援計画を作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	課題内容や支援・指導の方法についてミーティング(日次・週次・月次)で話し合い、共通の理解を図り取り組んでいる。	ミーティング(日次・週次・月次)の中で、課題内容や支援・指導の方法について話し合うことにより、共通の目標を共有・理解することにより、活動プログラムの内容を充実させる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	活動の前後で職員ミーティングを行っている。開始前には子どもの様子や計画の流れ、支援方法の確認を行い、終了後には支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有している。	引き続き、活動の前後に必ず職員ミーティングを行い、開始前には子どもの様子や計画の流れ、支援方法の確認をする。終了後には支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	活動前後の職員ミーティングで子どもの様子や計画の流れ、支援方法の確認、支援の振り返りを行っている。その中で気付いた点などを記録し、支援の検証・改善につなげている。	引き続き、活動前後の職員ミーティングを必ず行い、子どもの様子や計画の流れ、支援方法の確認、支援の振り返りをする。その中で気付いた点などを記録し、支援の検証・改善につなげる。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	概ね6カ月に1回、支援計画の見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	0	ガイドラインに即した活動を計画(年次、月次、週次、日次)に取り入れ日々の活動を行っている。	引き続き、ガイドラインに即した活動を行い支援していく。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	児童発達管理責任者が出席している。	児童発達管理責任者が出席する。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	原則として、保護者を通して情報を共有しているが、子どもや家庭の状況により、学校と直接やり取りしている場合もある。また、緊急時には、学校と直接連絡が取れるような体制を取っている。	学校との連携を密にし、連絡調整が適切に行われるよう努める。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	0	必要に応じて連携について保護者と相談しながら行っている。	保護者と相談しながら、子どもの状況やニーズを把握し、各関係機関と連携した支援を行う。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	就学前に利用していた施設への訪問等及び連携会議を行い情報の共有及び共通理解を図っている。	引き続き、就学前に利用していた施設への訪問等及び連携会議を行い情報の共有及び共通理解を図る。	

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	卒業前において卒業後に利用を予定している施設への訪問等及び連携会議を行い情報の共有及び共通理解を図っている。利用開始後も必要に応じて、連絡を取り合い、情報の共有及び共通理解に努めている。	引き続き、卒業前において卒業後に利用を予定している施設への訪問等及び連携会議を行い情報の共有及び共通理解を図る。利用開始後も密に連携を図り、情報の共有及び共通理解に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	他の事業所が主催する研修会へ積極的に参加している。	他の事業所と共催での研修会等を行い、更に連携を深める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	当法人内に保育園、放課後児童クラブがあり、夏まつり、運動会、発表会等の行事へ参加することで交流を図っている。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流行事が実施できなかったが、少人数でも交流及び活動のできる行事の検討を行い、実施する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	地域自立支援協議会子ども部会、保幼小連携協議会やその他の関連する会議等へ積極的に参加している。	関連する会議等へ積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	●毎日、連絡帳にその日の子どもの様子を記載して伝えている。 ●送迎時にその日の子どもの様子を伝えている。 ●必要に応じて、個別に相談の時間を設けて共通理解を図っている。	引き続き、毎日の連絡帳や送迎時での伝達や個別相談等により、子どもの状況を共通理解する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	●ペアレントプログラム支援を行っている。 ●保護者との個別面談時や相談があった際に、対応などのアドバイスをしている。	●地域の関係機関と連携した研修会(保護者向け、職員向け)を実施することで、ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムの専門知識を得られる機会を多く設ける。 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のためペアレント・トレーニングが実施できなかったが、少人数で行える家族支援プログラムの検討を行い、支援を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	契約時に説明を行っている。また、随時不明な点は職員が説明するようにしている。	運営規程、利用者負担等について、保護者からの質問に対して、誤った説明がなされないよう、常に全職員の共通理解の徹底を目指す。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	定期的なモニタリングの面談時に相談の時間を設けている。また、必要に応じて面談を行うなどして、相談に応じている。	定期的な面談以外でも保護者が気軽に相談できるような信頼関係を築くことを常に目標とする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のために、保護者会は開催できていないが、親子で参加する行事等の際に保護者同士が関わられるような工夫をしている。	新型コロナウイルス感染症防止のため、保護者総会や保護者会主催の海遊び会等のイベントが自粛されているので、通常の園行事を通して保護者同士が連携を取れるように工夫をすることで支援につなげる。
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	法人内、園内において相談・苦情解決処理体制が整備されており、その内容をポスターを掲示し、周知をしている。また、相談や苦情があった際には、その都度、苦情解決責任者(園長)に相談の上、対応している。	相談・苦情解決に関する処理体制の周知をポスターの掲示及びホームページにより行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	園だよりの配布により行っている。	園だよりの配布及びホームページにより周知を行う。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	●モニタリングの面談時に個人情報の取り扱いについての説明を文章(個人情報保護に関する同意書)により行っている。 ●個人情報の保護及び漏洩を防ぐため全職員から「秘密保持に関する誓約書」を徴している。	●個人情報の取り扱いについてホームページによる周知を行う。 ●引き続き、全職員へ個人情報保護規程の周知を行う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	毎日の連絡帳や送迎時にその日の子どもの様子を伝えている。	引き続き、毎日の連絡帳や送迎時での伝達を必ず行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	「勤労感謝の日の行事」として、地域の職場を訪問している。	●例年は運動会、発表会等の行事の際に地域住民に参加を呼びかけ実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、困難な状況にあるため、少人数で行える行事への参加を呼びかける。 ●地域の方々を招待する行事(夏まつり、運動会、発表会)の案内をポスターの掲示により行っているが、ホームページによる案内もあわせて行う。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	●全職員へ各マニュアルが含まれた法人規程集を配布し、周知している。 ●各マニュアルの重要事項を「入園のしおり」に掲載し、配布することで周知している。	様々な場面(不審者等)を想定した訓練を計画し、実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	毎月、避難訓練を行っている。	引き続き、毎月避難訓練を実施する。また、消防署立ち合いの避難訓練も計画し、実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確	4	0	●専門機関による研修会を受けている。	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、専門機関による研修会を受講できなかったが、オンラインでの研修会を受講する。

同等の対応		7	0	●施設内研修で「虐待防止に関する研修会」を実施し、全職員の研修機会を確保している。	●引き続き、施設内研修で「虐待防止に関する研修会」を実施し、全職員の研修機会を確保する。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0		身体拘束に関する事案はない。様々な場面を想定し、万が一に備えて保護者とのやり取り等を記録するよう心掛ける。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	契約時にアレルギーについて確認し、適切に対応している。	契約時に必ず確認し、適切な対応をする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	事案が発生した場合には、報告書を作成し、ミーティングにおいて報告することで共有している。	ヒヤリハット報告書を回覧し、全職員で共有する。